

Ⅲ 広報・啓発活動

子どもの権利侵害からの救済の実効性を確保するためには、まず、子どもや保護者、そして子どもが育ち学ぶ施設の職員など、多くの方々に子どもアシストセンターの存在を広く知ってもらう必要があります。そのうえで初めてSOSの声が子どもアシストセンターに寄せられるようになってきます。

このことから、実際の相談・救済活動とともに、広報活動は極めて重要と考えており、さまざまな方法により、子どもアシストセンターの普及・啓発に努めています。

1 広報・啓発活動

(1) 子どもアシストセンターの広報物

The collage features several items:

- ひとりでも悩まないで** (Don't worry even if you're alone): A blue and white card with a dog mascot, providing contact information (0120-66-3783) and the center's name.
- 名刺大カード** (Business Card Large Card): A white card with a dashed border, listing distribution dates (April, June, November) and target audiences (elementary, high school, and middle school students).
- リーフレット** (Leaflet): A colorful leaflet with a dog mascot, explaining the center's services and contact details.
- あしすと通信** (Asist Communication): A newsletter with a dog mascot, featuring articles and contact information.
- 保護者向けチラシ** (Parental Information Sheet): A white card with a dashed border, detailing the center's role and providing contact information.
- 保護者向け広報紙** (Parental Information Paper): A white card with a dashed border, listing distribution dates (July and November) and target audiences (parents of elementary and middle school students).
- 子どもアシストセンター** (Children's Assist Center): A green and white card with a dog mascot, providing contact information and service details.
- 子どもアシストセンター** (Children's Assist Center): A yellow and white card with a dog mascot, providing contact information and service details.
- 子どもアシストセンター** (Children's Assist Center): A yellow and white card with a dog mascot, providing contact information and service details.
- 子どもアシストセンター** (Children's Assist Center): A yellow and white card with a dog mascot, providing contact information and service details.

(2) DVD (子どもアシストセンターPR・啓発用動画) のYouTube へのアップロード

当機関のPR及び子どもの権利侵害の未然防止を目的とした啓発用のDVDを、平成25年度に制作しました。

「いじめ」をテーマとしたドラマを盛り込み、子どもたち自身でいじめの解決について考えてもらいながら、子どもアシストセンターの役割を知ることができる内容となっています。

平成26年度には、各小中学校に配布したDVDの活用について改めて依頼するとともに、YouTubeの札幌市公式ホームページで動画を公開しました。YouTubeの啓発ドラマ編については、平成26年度末で11,000回以上の再生回数となっています。



(3) 出前講座等

あしすと出前講座 (18回実施)



- テーマ例**
- ・「子どもの権利を守るってどんなこと？」
 - ・「相談から見える子どもたち」
 - ・「子どものSOS ～子どもの声が聞こえますか？」

PTA、家庭教育学級、青少年関係団体など子どもに関わるさまざまな団体やグループなどを対象に、相談・救済スタッフが講師となり、子どもの悩みや課題について共に考え話し合います（費用は無料）。

あしすと子ども出前講座 (24回実施)



- 子どもの声**
- ・ いじめられたり、悲しい時にはすぐに電話しようと思いました。
 - ・ お家のこと、学校のこと、何でも相談してよいことがわかりました！

子どもにとって親しみやすく安心して相談できる機関であることを直接PRするため、市内の児童会館を利用する子どもを対象に、相談員が出向いてペープサート（紙の人形劇）等を使った出前講座を行っています。

その他の講座

- ・ 札幌市教職経験者研究協議会の講師として派遣(1回実施)
- ・ 札幌市出前講座 (2回実施)

(4) ホームページ・マスメディア等



HP

ホームページコラム「こんにちは、アシストです」（毎月更新）
救済スタッフが子どものことで気がついたこと、感じたことなどをコラムにしてホームページに掲載

スタッフの自己紹介（随時更新）

親しみをもち、安心して相談できるようスタッフの似顔絵とともに自己紹介文を掲載



ラジオ

Air-G'「ポップアップさっぽろ」（5/8放送）



地域新聞

ふりっぱー白石厚別版（6月号）

まんまる新聞（6月）



2 制度・活動に関する問合せ・視察

他の自治体から、15件117人の地方議員の方が視察に訪れました。

主な問い合わせ内容は、子どもアシストセンターの設置の経緯、制度の内容、教育委員会や学校などとの連携状況、子どもアシストセンターのPR方法や運営状況などです。